

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和2年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-7

5-Ⅱ-7

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	地場産業の活性化
節	Ⅱ.伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	7 佐渡産ブランド品開発	事業主体	佐渡連合商工会
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市地域振興課
事業概要	<b>【事業目的】</b> ○ 特産品の開発等により、佐渡産ブランドの価値の向上を図る。		
	<b>【事業内容】</b> ○ 特産品の開発や既存商品のブラッシュアップに向けて、関係機関が連携して佐渡金銀山ブランドイメージを活用した戦略的な検討を進める。		
事業計画と実績	<b>【R2年度計画】</b> ● 過去の商品開発や自社商品の売り上げ向上をめざし、島外への販路拡大を実現するため、首都圏の消費者ニーズを把握している専門家を招聘し、新商品の開発や自社商品の販路開拓に向けたセミナーの開催や商談会を実施する。 ● 自社商品売上向上セミナーを3回実施する。 ● サービスのブラッシュアップ専門家派遣をセミナー参加5事業者に対し、3回(1事業者あたり)実施する。 ● 県内商談会及び首都圏商談会を各1回実施する。		
	<b>【R2年度実績】</b> ● 令和2年3月に経済産業省の認定を受けた経営発達支援計画を基に、島内10商工会が連携して「自社商品売上向上」をテーマに事業計画を策定するセミナーを3回開催した。 ● サービスのブラッシュアップ専門家派遣セミナーを5事業者を対象に3回実施した。 ● 新たな需要の開拓に寄与する事業として、県内商談会「フードメッセinにいがた2020(11.11～13)」へ6事業者が出店・参加し、商談を実施した。(全体の出店者数は例年の半分程度239) 来場者は、コロナの影響により例年の半分程度の5,868人であり、商談件数は各事業者6～7件程度であった。 当初、首都圏商談会を来年1月に東京日本橋「離島キッチン」で開催を予定していたが、新型コロナ感染拡大の影響を考慮し、本年度はやむなく中止とした。		
課題・今後の取組	<b>【課題】</b> ■ 佐渡金銀山ブランドイメージの確立に向けた商品開発とその関連付けが必要であり、関係機関との連携による情報発信が不可欠となるため、積極的に関係機関との情報共有を図る必要がある。		
	<b>【今後の取組】</b> ■ 令和4年度末の計画終了に向けて、商工会組織の集約化(合併等)を視野に入れた組織体制の見直しについての協議を行い、並行して、これまで以上に各商工会間の事業連携と佐渡市の関係機関との連携を密にして、佐渡金銀山のブランドイメージを活用しながら佐渡産品の更なるブランド化を目指す。		
事業評価	<b>【事業の達成度】</b> [ a (b) c ] <b>【事業実施の効果】</b> [ a (b) c ] <b>【総合評価】</b> [ A (B) C ]		
	◇ 本事業は、佐渡産ブランド品開発に向けた検討を重ねていくものであり、令和4年度までの累積的な目標は設定していないが、島内各所において、ブランド品開発が進められており、一定の成果が得られることから、B評価とした。		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。